

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成21年4月16日(2009.4.16)

【公開番号】特開2007-295554(P2007-295554A)

【公開日】平成19年11月8日(2007.11.8)

【年通号数】公開・登録公報2007-043

【出願番号】特願2007-95416(P2007-95416)

【国際特許分類】

H 03M 1/08 (2006.01)

【F I】

H 03M 1/08 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月27日(2009.2.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

周期性の高いアナログ入力信号が入力されるアナログ／デジタル変換器と、所定の周波数帯域にてノイズを発生する帯域ノイズ発生器と、この帯域ノイズ発生器にて発生したノイズを前記アナログ／デジタル変換器の入力信号に加算するための加算器と、

前記アナログ／デジタル変換器によって変換したデジタル信号を基にデジタル処理を行うデジタル処理部と、

前記アナログ／デジタル変換器の入力側に設けられた電圧制御発振器と、

前記デジタル処理部の出力側に設けられたデジタル／アナログ変換器と、を備え

、
前記帯域ノイズ発生器から出力されるノイズの周波数帯域は、前記デジタル処理部におけるデジタル信号処理に影響を及ぼさない帯域であり、

前記デジタル処理部により処理された信号を前記デジタル／アナログ変換器を介して電圧制御発振器に帰還することによりPLLループを形成することを特徴とするデジタル処理装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明のデジタル処理装置は、
周期性の高いアナログ入力信号が入力されるアナログ／デジタル変換器と、所定の周波数帯域にてノイズを発生する帯域ノイズ発生器と、この帯域ノイズ発生器にて発生したノイズを前記アナログ／デジタル変換器の入力信号に加算するための加算器と、

前記アナログ／デジタル変換器によって変換したデジタル信号を基にデジタル処理を行うデジタル処理部と、

前記アナログ／デジタル変換器の入力側に設けられた電圧制御発振器と、

前記ディジタル処理部の出力側に設けられたディジタル／アナログ変換器と、を備え
、

前記帯域ノイズ発生器から出力されるノイズの周波数帯域は、前記ディジタル処理部におけるディジタル信号処理に影響を及ぼさない帯域であり、

前記ディジタル処理部により処理された信号を前記ディジタル／アナログ変換器を介して電圧制御発振器に帰還することによりPLLループを形成することを特徴としている。
本発明の具体的な態様としては例えばPLL装置を挙げることができる。このようなPLL装置としては、例えば周波数シンセサイザを挙げができる。